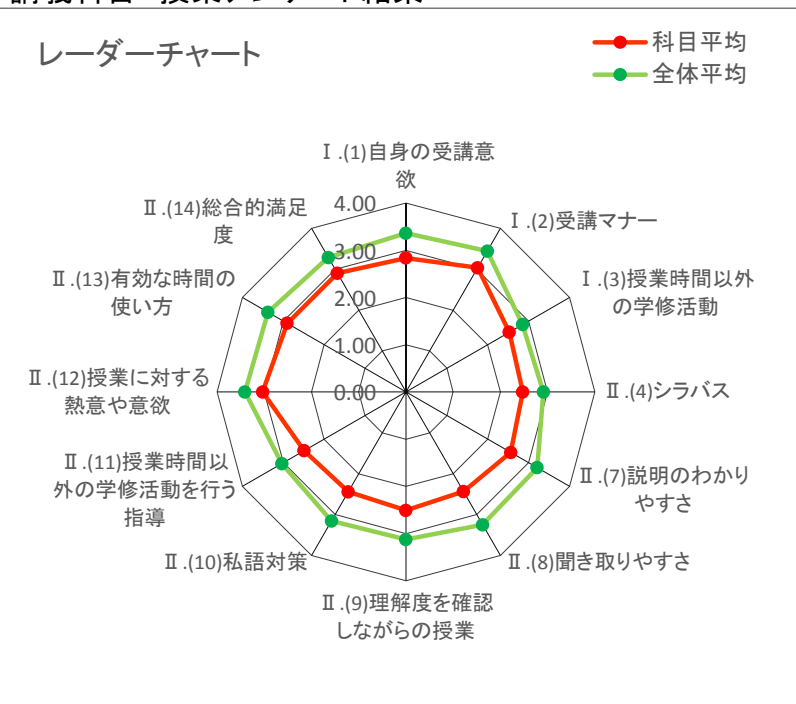
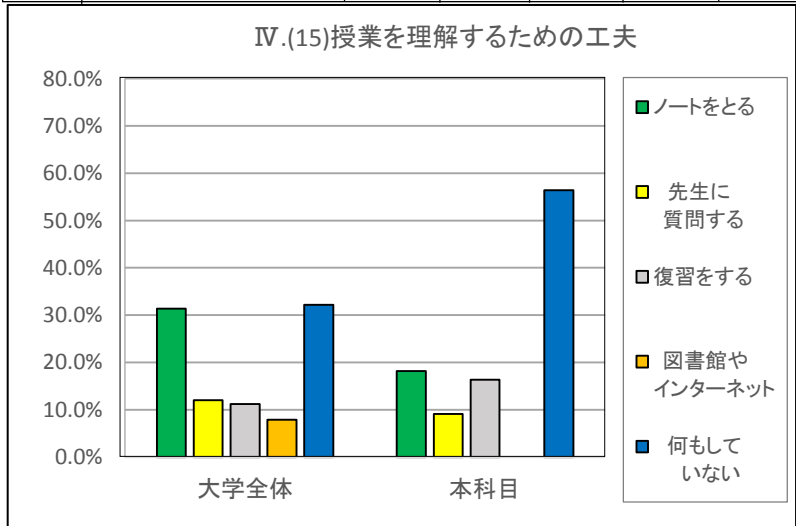


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	18.2%	9.1%	16.4%	0.0%	56.4%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	13101
科目名	健康スポーツ(理論)
教員名	

①授業計画の達成度について
 昨年に比べて、順調に予定していた課題計画を進めることが出来た。毎時間プリントを配布し、板書時間を少なくし、その分、学生に対する問いかけ、議論、質問に答える時間を取ることが出来た。しかし、テーマとして予定していた歩行実習とその課題レポートの提出をさせる時間が取れなかった。難易度は、学生が予想していたより高度で、深い内容で、高校までの保健体育講義と異なり、教職を目指す学生の教養の授業であり、受け止めに差があったと思われます。

②授業の進め方について
 言葉は、学術的用語も多く、学生は途惑っていたが、優秀な学生は、高等学校と異なる内容にそれなりに刺激を受け、講義後半の質問では、高度で深く、課題に取り組む姿勢が感じられる物が少しずつ増える傾向にあったと捉えている。毎時間講義終了時に、その時間のキーワード、キーセンテンスを書かせ、質問や授業改善を記入させた。授業環境は、決して静かではないが、議論や質問のためであって講義内容にかかわることで周囲の学生と意見交流していると捉えている。講義と関係ない私語は注意したつもりである。学生の興味関心を持たせ、深く考察・議論を進め授業満足度を上げるために教材研究、毎時間プリント配布をしたが、一部の学生には、甘やかしにつながったかもしれない。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 毎時間、講義のキーワード、キーセンテンスと質問疑問を書かせた。7月に入ると毎時間小テストを実施した。最後に個人別に集めると、学生個人のこの授業への取り組み、課題への考察の深さが総合的に表れる。学生にとっては、毎時間評価の資料が作成されることを最初の講義で宣言したので負担感が多くしんどかったと思われる。理解度の確認、説明の分かりやすさは、アンケートの応じ改善した。聞き取りやすさについては、マイクの使用と、早口の改善を後半心掛けた。歯科に通い歯列矯正、治療を受け、滑舌は昨年よりよくなったと自分は感じている。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	2.84	3.36
	I.(2)	3.04	3.45
	I.(3)	2.53	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.47	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.56	3.21
	II.(8)	2.44	3.25
	II.(9)	2.51	3.13
	II.(10)	2.44	3.16
	II.(11)	2.49	3.04
	II.(12)	3.04	3.41
	II.(13)	2.91	3.37
満足度	II.(14)	2.91	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	2.80	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	2.61	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	2.91	3.29
III.(14)		